

第19回沖縄交流事業

沖縄県中城村との交流を通じた人材育成

沖縄交流事業は、沖縄県の児童との交流・体験学習を通じて、沖縄の歴史や文化・自然を学び、豊かな人間性と社会性を養うとともに、視野の広い人材を育成することを目的として、平成10年度に旧飯岡町教育委員会所管で実施されました。以来今日まで毎年、両市村小学校児童による相互訪問(交流会)や体験学習を実施してきました。現在では、これまでの交流事業を踏まえ、さらに交流の輪を広げるため、姉妹都市としての提携を結んでいます。

深まる友好の絆

旭市の合併後、市内の小学校3校を単位として行われてきた本事業も、今年で3巡目を迎えました。琴田小・干潟小・豊畑小の5年生児童計20人が、旭市の代表として親善大使を務めました。

本年度は6月30日から7月2日にかけて、沖縄県を訪問し、平和祈念資料館や中城城跡、首里城などの見学を通して、多くのことを学んできました。たくさんの来賓が参加した歓迎交流会や、中城村立津覇小で行われた児童交流会では、中城村の皆さんから熱烈的な歓迎を受けました。この交流会は、参加した児童が最も楽しみにし



津覇小で行われた児童交流会

ていたものでもあり、初めて会った子どもたち同士とは思えない和やかな時間となりました。

11月17日、18日には中城村の交流団が旭市を訪れ、旭市防災資料館や刑部岬の見学を通し、旭市について学びました。感謝の気持ちを込めておもてなしした歓迎交流会や干潟小での児童交流会では、互いに再会を喜び合い、両市村の絆を一層深めることができました。

短い時間でしたが、多くのことを肌で学んだ子どもたちは、きっと今後の両市村の懸け橋となる人材に成長してってくれるはずですよ。

第6回 みんなの学校自慢



滝郷小学校の紹介

滝郷小6年 高木 こころさん

私が通っている滝郷小は、全校児童が111人の小さな学校です。人数が少ないからこそ、1年生から6年生までの仲がとても良いです。休み時間になると、上級生が下級生の面倒をよく見て、みんな仲良く遊んでいます。

滝郷小の良いところは、一年間にいろいろな行事があるところです。その中でも一番紹介したい行事は「ふれあいフェスティバル」です。この行事は、昔から続いて今年で21回目を数えます。

1～4年生は、地域の皆さんからブンブンゴマや竹とんぼ、紙鉄砲などの昔の遊びを教してもらいます。教えてもらいながら、地域の皆さんとの交流を深めていきま



「ふれあいフェスティバル」で竹とんぼづくり

す。そして5・6年生は、海上保育所の園児を学校に招待し、グループごとに射的や輪投げなどの遊びを考え、楽しく交流します。景品も園児が喜びそうなものを自分たちで用意しています。また今年のフェスティバルでは、プロのジャグリング演技者の「チャン・ザ・クラウン」さんをお迎えして、本場のジャグリングを披露していただきました。

ふれあいフェスティバルは、地域の皆さんとたくさん交流ができるとても良い行事です。これからもずっと続いてほしいです。